

謎解きラスター彩

：詩に隠された数字をめぐる冒険

—コードネームは

「甘美ナ声ノ挽歌詠ミ」

日時

2019年7月16日 (火)

午後6時～7時

場所

大岡山80年記念館

2階会議室

講師

神田惟先生

(東京大学東洋文化研究所
特任研究員)

申し込み

件名に、「イブニングセミナー申込」本文に
氏名、所属、学年（学生の場合）を記入の上、
concierge.info@jim.titech.ac.jp

にメールで申してください。（先着30名）

東京工業大学学生支援センター修学支援部門

神田先生はイスラーム美術史、とりわけ、
中世から近世にかけてのイランおよびアラ
ブ圏の工芸史を専門とされています。今回
の講演では「ラスター彩陶」を扱います。
ラスター彩陶は15世紀以降、イランのどこ
で作られていたのでしょうか。この問いは、
とある16世紀半ば製のラスター彩陶製墓の
碑文中のペルシア語詩の解読によって決着
を見ました。思いもよらぬ暗号が、碑文中
のペルシア語詩に隠されていたのです。

